

研究事業 衛星観測に関する研究事業(衛星観測センター)

委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

○GOSAT の定常的運用、GOSAT-2 の 2018 年度打ち上げに向けた準備、さらには GOSAT-3 に向けた検討、新たな検証観測基地の設置など、着実にかつ組織的に事業が進められている。

○国際的な貢献度の大きい事業であり、日本の国際的プレゼンスを高めている。

今後への期待など

○今後も衛星を活用した継続的な観測が着実に行われるとともに、この分野を国際的に主導して研究事業が推進されることに期待する。

○引き続き、国内外の各機関との連携を強化し、共同研究を大いに進展させて欲しい。

主要意見に対する国環研の考え方

①引き続き、長期的な温室効果ガス衛星観測を推進し、今後も本事業が気候変動分野における我が国の主要な貢献と位置づけられるとともに、この分野の国際的なイニシアティブを我が国が維持できるよう努力いたします。
--

②打ち上げ予定の GOSAT-2 については、現在稼働中の GOSAT の特徴をさらに強化する方向で開発を進めています。GOSAT-3 については、行政・科学ニーズや世界各国の動向、計測技術の進展等を踏まえて、国際社会への貢献と我が国の独自性や先進性を両立できるよう本格的に検討を進めて参ります。
--